

現千葉県農林水産業振興計画について

(1) 全体概要

計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

本県は、温暖な気候と首都圏に位置する恵まれた立地条件や農林漁業者の高い技術に支えられた全国屈指の農林水産県であるが、近年、台風等の自然災害や高病原性鳥インフルエンザなどにより、農林水産業は甚大な被害を受けた。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大による県民のライフスタイルの変化や、多様化する消費者ニーズへの対応、さらには、脱炭素社会の実現に向け環境に配慮した持続可能な農林水産業の振興が求められている。

これらの状況を踏まえ、農林漁業者の所得向上と農山漁村の活性化に向け、新たな農林水産業振興計画を策定した。

2 計画の性格

本計画は、千葉県総合計画を上位計画とし、本県農林水産業における 10 年後の目指す姿を示すとともに、その実現に向けた具体的な取組を定めたもの。

3 計画期間

令和 4 年度～令和 7 年度(4 年間)

本県農林水産業をめぐる情勢

- 人口減少と高齢化の進行
- デジタル社会の進展
- 新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済活動の変化
- 国内外における SDGs や環境への関心の高まり
- 経済のグローバル化の進展
- 頻発する自然災害や家畜伝染病

基本方針

1 目指す姿

千葉県総合計画では、概ね 10 年後の目指す姿『農林水産業が魅力ある力強い産業に育っている千葉』を掲げている。本計画では、この目指す姿の実現に向け、数値目標を定めて各種施策を展開し、農林漁業者の所得向上を図る。

2 基本目標

力強く、未来につなぐ 千葉の農林水産業

【数値目標】

目標項目	現状値	令和 7 年	令和 12 年
農業産出額	3,853 億円 令和 2 年	4,500 億円	5,000 億円
県内漁港水揚金額	476 億円 令和元年	580 億円	600 億円
農業・漁港生産関連事業の年間販売金額	750 億円 令和元年度	830 億円	1,000 億円

基本施策(主な取組)

1 次世代を担う人材の育成・確保

- ◆ 農業所得の向上・雇用創出に向け、販売額 3,000 万円以上の経営体を育成
- ◆ 地域農業を支える集落営農組織や小規模農家の営農継続を支援
- ◆ 農業内外からの新規就農者の確保・定着や企業による農業参入を促進
- ◆ 高性能林業機械の活用など林業事業体の経営基盤を強化
- ◆ 地域漁業の実情に応じた「就業モデル」構築による新たな担い手の確保・定着

2 農林水産業の成長力の強化

- ◆ 作業の省力化や生産性の向上につながるスマート農林水産業を加速化
- ◆ 生産性を高める農地の大区画化や野菜など高収益作物の栽培に向けた水田の汎用化を推進
- ◆ 農地の集約化に向けて人・農地プランの話し合いを推進
- ◆ 新技術活用や基盤整備により水産資源の持続的な利用と水産業の成長産業化を両立
- ◆ ちばエコ農業や有機農業など環境負荷軽減の取組や耕畜連携による資源循環型農業を推進
- ◆ 森林環境譲与税を活用した都市部と森林地域の市町村の連携による森林整備の取組を支援
- ◆ 革新的な生産技術及び品種開発、環境への調和や資源の維持増大に関する試験研究を推進

3 市場動向を捉えた販売力の強化

- ◆ 加工・業務用需要の拡大など市場動向を捉えた産地の流通販売体制の整備を推進
- ◆ 地産地消、グリーン・ブルーツーリズムの推進、地域資源を活用した商品開発を支援
- ◆ 県オリジナル品種や新たな「食」の提案等により県産農林水産物のブランド力を強化

4 地域の特色を生かした農山漁村の活性化

- ◆ 交流人口の拡大により農山漁村の将来を担う多様な人材の定着を促進
- ◆ 農山漁村がもつ多面的機能を維持・発揮するための地域住民等による活動を支援
- ◆ 房総半島の豊かな海と漁業・漁村が有する歴史と文化を活用した海辺の活性化

5 災害等への危機管理の強化

- ◆ 収入保険等の加入促進や農業用施設の補強対策等により農業経営へのリスクを軽減
- ◆ 飼養衛生管理基準の徹底及び監視体制の強化により家畜防疫体制を強化
- ◆ 排水施設や漁港施設等の防災・減災対策とため池の人的被害の防止に向けたハザードマップ作成と防災工事

部門別戦略

目標の達成に向け、4年間の計画期間内に効果的かつ集中的に展開する施策を園芸・農産・畜産・森林・林業・水産の5部門において「戦略」として打ち出し、着実な推進を図る

千葉県農林水産業振興計画の令和4年実績（農業産出額）

項目	計画策定時	目標(令和7年)	実績
農業産出額	3,853 億円 ※R2年	4,500 億円	3,676 億円 (全国4位)
県内漁港水揚金額	476 億円 ※R元年	580 億円	444 億円 (全国6位)※R3年
農業・漁業生産関連事業 (6次産業)年間販売金額	750 億円 ※R元年度	830 億円	795 億円※R4年度

(1) 農業産出額の都道府県別全国順位

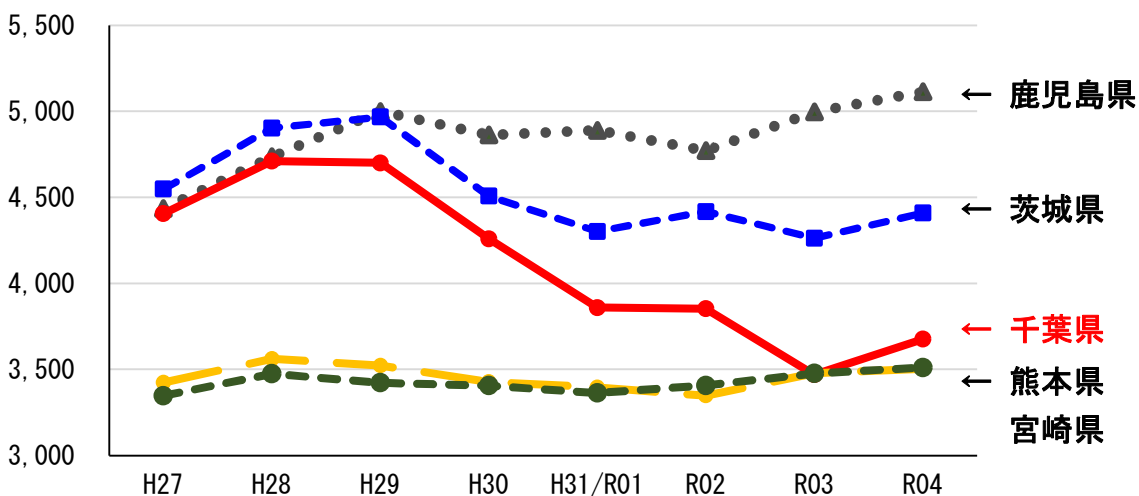
順位	令和4年			令和3年	
1位	北海道	12,919 億円	(▲189 億円)	北海道	13,108 億円
2位	鹿児島県	5,114 億円	(+117 億円)	鹿児島県	4,997 億円
3位	茨城県	4,409 億円	(+146 億円)	茨城県	4,263 億円
4位	千葉県	3,676 億円	(+205 億円)	宮崎県	3,478 億円
5位	熊本県	3,512 億円	(+35 億円)	熊本県	3,477 億円
6位	宮崎県	3,505 億円	(+27 億円)	千葉県	3,471 億円
	全国	90,010 億円	(+1,631 億円)	全国	88,380 億円

(2) 千葉県の農業産出額及び全国順位の推移

(単位：億円)

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
産出額	4,405	4,711	4,700	4,259	3,859	3,853	3,471	3,676
順位	4位	4位	4位	4位	4位	4位	6位	4位

※ 全国順位が第2位の年は、平成6年～平成16年（11年間）及び平成19年である。（計12年間）



※ 北海道は、農業産出額 12,919 億円で引き続き全国1位

(3) 千葉県的主要品目別の農業産出額

区 分		令和4年		増減率	令和3年	
農業産出額		4位	3,676億円 (+205億円)	+5.9%	6位	3,471億円
内 訳	米	8位	472億円 (+6億円)	+1.3%	8位	466億円
	豆類	2位	103億円 (+10億円)	+10.7%	2位	93億円
	いも類	4位	215億円 —	—	4位	215億円
	園芸	7位	1,624億円 (+56億円)	+3.6%	7位	1,568億円
	野菜	3位	1,335億円 (+55億円)	+4.3%	3位	1,280億円
	果実	23位	91億円 (▲10億円)	▲9.9%	22位	101億円
	花き	2位	198億円 (+11億円)	+5.9%	2位	187億円
	畜産	8位	1,226億円 (+132億円)	+12.1%	9位	1,094億円
	肉用牛	20位	117億円 (+10億円)	+9.3%	20位	107億円
	生乳	5位	226億円 (+1億円)	+0.4%	5位	225億円
	豚	5位	467億円 (+74億円)	+18.8%	5位	393億円
	鶏卵	4位	297億円 (+50億円)	+20.2%	6位	247億円
	その他	—	119億円 (▲3億円)	▲2.5%	—	122億円
その他	—	36億円 (+1億円)	+2.9%	—	35億円	

ア 千葉県(4位)

- ・主要部門別構成割合：①野菜(36.3%)、②米(12.8%)、③豚(12.7%)、④鶏(10.4%)
- ・果実及び乳用牛の産出額は減少したものの、豚、鶏及び野菜の産出額が増加

イ 茨城県(3位)

- ・主要部門別構成割合：①野菜(36.5%)、②米(13.9%)、③鶏(13.5%)、④いも類(8.9%)
- ・果実及び豚の産出額は減少したものの、野菜及び鶏の産出額が増加

ウ 鹿児島県(2位)

- ・主要部門別構成割合：①鶏(24.2%)、②肉用牛(24.0%)、③豚(17.8%)、④野菜(10.4%)
- ・野菜及び肉用牛の産出額は減少したものの、豚及び鶏の産出額が増加

エ 熊本県(5位)

- ・主要部門別構成割合：①野菜(35.5%)、②肉用牛(12.9%)、③果実(10.3%)、④乳用牛9.5%
- ・米及び乳用牛の産出額は減少したものの、主に野菜の産出額が増加

オ 宮崎県(6位)

- ・主要部門別構成割合：①鶏(25.8%)、②肉用牛(23.6%)、③野菜(18.1%)、④豚(14.8%)
- ・米及び野菜の産出額は減少したものの、果実、肉用牛及び鶏の産出額が増加